

つくば環境スタイル

知と創意で低炭素社会を実証する田園都市つくば



つくば市



節電

オールつくばでの取り組み

つくば市は、“2030年までに市民一人当たりのCO₂排出量を50%削減(2006年度比)”を目標に掲げた「つくば環境スタイル」を推進しています。今夏の電力不足に対して市民や大学・研究機関、企業、行政の“オールつくば”で節電に取り組んできました。その結果、7月～9月の市域全体の総消費電力量が昨年に比べ21.7%と、東電管内平均を約7%上回りました。今後は、節電をはじめとした省エネルギー化をさらに推進し、低炭素スマートライフスタイルの確立を目指します。

つくば環境スタイル



節電大会

夏の電力不足に対応するため、市内ではいち早く研究機関等の節電会議を開催し、6月17日(金)には、市民、企業、行政も参加し、「節電大会」を開催し、約700名が来場しました。節電情報の発信や節電宣言を実施し、来場者へは、ゴーヤの苗をプレゼントしました。

1. つくば環境スタイルとエネルギーの共生への取り組み
2. 夏の電力について
3. 簡単にできる節電のポイント
4. グリーンカーテンの効果とその楽しみ方
5. みんなで節電宣言
6. 節電相談コーナー など



配布したゴーヤの苗

グリーンカーテンキャンペーン

葉の蒸散作用により、建物の温度上昇を抑える効果があるとされるグリーンカーテンを普及するため、市内の各家庭や事業所、研究機関、市の出先機関、学校など、1,500件に7,500本のゴーヤ苗をセットで配布しました。

市役所におけるグリーンカーテン設置

庁舎南側に6月28日～9月26日まで、約70mに渡り198本のゴーヤ苗を植え、成長過程をホームページやTwitterでも公開。独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構の指導により、グリーンカーテンは約6mにまで成長しました。環境省および茨城県のグリーンカーテンコンテストにも応募。収穫したゴーヤは、来庁者に無料で配布し、ゴーヤジュースの試飲会も実施。



ゴーヤジュース



Twitterでの節電情報発信

6月6日から、今夏の節電の情報発信を目的としたTwitterアカウント「つくば節電スタイル @tkb_kkstyle」の運用を始めました。10月1日からは「つくば環境スタイル」として衣替えしました。11月現在、約700人のフォロワーとのスマートライフについての情報交換に利用しています。



節電推進コーナー

家庭における節電を積極的に推進するため、「節電推進コーナー」を市役所1階、ショッピングセンター「イースつくば」1階メインコート脇に9月末日まで開設。節電関連パネルの展示や節電グッズ(粗品プレゼント)、節電チェックシート・節電宣言ポスターの配布、節電グッズの紹介など、節電に関する情報を発信。



電力「ミエル化」計画

家庭で簡単に電気消費量をミエル化できる節電チェックシート「電力「ミエル化」計画」を作成し、市役所窓口、出先機関、イベントなどで配布。各家庭の節電チェックを記入提出し、抽選で折りたたみ自転車やエコグッズをプレゼント。



節電ポスター・横断幕

家庭用、事業所用のポスターを配布し、節電を宣言してもらいました。横断幕を市内主要道路の歩道橋やつくばエクスプレス市内各駅に設置し、節電をお願いしました。



つくば市役所の節電対策

ガスを中心とした冷暖運転と28℃以上の温度設定をはじめ、執務室の照明設備の節電の徹底や駐車場、庭園、道路の外灯の半減、早朝勤務などにより、ピーク時に最大35%削減。

つくばキッズ節電大使

子どもたちの家庭における節電意識を高めるため、市内の小学校4年生～6年生を「つくば節電大使」に任命し、夏休み期間中、子どもたちが家庭での節電リーダーとして取り組みました。大使には、「節電ドリル」を配布。節電に取り組んだ感想などを各学校を通して提出してもらいました。



節電ポスターコンクール

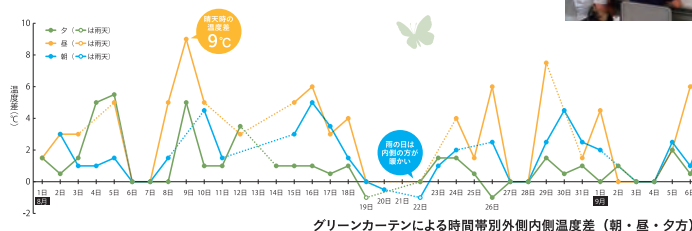
小学校4年生～中学校2年生までの児童・生徒を対象に夏休みを利用して描いた節電ポスターを募集しました。



小学5年男 藤原 大智 小学5年 大智 小学5年 大智



小学5年男 藤原 大智 小学5年 大智



つくば市庁舎南側に設置したグリーンカーテンの外側と内側の温度差を1日3回(朝・昼・夕)測定しました。
[つくば市調べ]

2011年11月1日現在